

社会資本整備審議会 道路分科会 平成30年度第1回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成30年11月29日（木）14:30～16:30

2. 場 所

中国地方整備局 建政部 3F会議室

3. 出席者

<委員>

- ◎藤原 章正 ふじわら あきまさ 広島大学大学院 国際協力研究科 教授
- 内山 誠一 うちやま せいいち 中国経済連合会 専務理事
- 小池 淳司 こいけ あつし 神戸大学大学院 工学研究科 教授
- 鈴木 春菜 すずき はるな 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授
- 橋本 成仁 はしもと せいじ 岡山大学大学院 環境生命科学研究所 准教授
- 福田 京子 ふくだ きょうこ 地域づくりネットワーク 代表

敬称略、◎委員長

4. 議 題

(1) 計画段階評価について

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）
山陰道（須子～田万川）
山陰道（大井～萩）

5. 結論

- ・鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の複数ルート帯（案）及び第2回意見聴取を行うことを了承する。
- ・なお、第2回意見聴取にあたっては、この道路の持つ機能や整備による影響等について、分かりやすく説明をした上で意見聴取を実施するよう、アンケート内容の見直しを行うこと。
- ・山陰道（須子～田万川）のうち、現道対策として原案の提示のあった「小浜～田万川間」について、バイパス案を加えた評価を今後検討し、意見聴取を実施すること。
- ・山陰道（大井～萩）の対応方針（案）について了承する。

6. 委員からの主な意見

○鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）

- ・まちづくりをどう考えるかで意見は変わる。意見聴取にあたっては、計画する道路の持つ機能（物流、人流等）をきちんと情報提供すべき。
- ・道路整備による景観や生活環境への影響に係る情報も提供すべき。
- ・道路機能を十分に発揮できるように、拠点施設や道路の使い方も含め意見を把握できるように検討すること。

○山陰道（須子～田万川）

- ・現道対策も必要だが、頑健なネットワークとして、山陰道の構築も必要である。小浜～田万川間について、バイパス案を加えた評価を今後検討し、意見聴取すべき。
- ・産業振興について、「石見臨空ファクトリーパーク」と「国営農地」の2拠点のみへのアクセス性だけで評価しているように読める。もっと広い視野で産業活性化に係る意見を喚起できるように、意見聴取の内容を検討すること。
- ・意見聴取にあたっては、「現道対策」の内容について適切な情報提供を行うこと。

○山陰道（大井～萩）

- ・対応方針（案）は別線バイパスであり、引き続き残る現道の課題についてもきちんと対応いただきたい。